

このコーナーでは、皆さんからの「こころ和む話題」をお待ちしています。

【投稿について】

- ◆字数 200 文字以内（文章は、必要に応じて添削する場合があります）
- ◆住所・氏名・年齢・性別・電話番号・ペンネーム（記入がない場合イニシャルで掲載します）を記入の上、市広報係までご投稿ください。
- ◆投稿は、はがき・封書・メールまたは直接広報係へ
- ◆締切は、毎月 10 日
 ※営利目的や個人、団体を批判・中傷するような内容は掲載できません。
 ※紙面の都合上、掲載できないこともあります。

【投稿・問い合わせ先】

〒895-2511
 伊佐市大口里1888番地
 市総務課広報係(大口庁舎)
 「和みのひろば」係
 ☎ 1311
 ☎ 1116・1117
 ✉ koho@city.isa.le.jp



私が小さい頃、七夕の日は祖母に笹が欲しいとお願ひし、折り紙で飾りや短冊を作ってみなで飾り付けをし楽しんだものです。高校2年生になった私は、17回目の七夕を普段と変わらず過ごし、家に帰ってみると、テーブルの上には私の分の短冊。近所の子どもたちが書いて欲しいと持ってきてくれたそうです。小さな子どもたちが近くにいるときさまざまな行事が生き生きと身近に感じられ、周囲が活性化していいなあと感じました。（大口 まほりん 16歳）

近所のパン工房で素敵なお炭だわらを見つけた一目ぼれ。早々玄関に置いた。消臭・除湿効果がバツグンというより、築ウン十年の純和風のわが家になんとピタリだと・・・。

カヤと紐で編んであるものやカズラで編んだかごに、サイズの揃った炭がピシリ詰めてある。すべて地元の人の手作りだそう。80過ぎの父がすぐ気づき、「炭だわ

らじゃいね」と懐かしそうに感心しきっていた。今は家中に置き、私の一番のお気に入りとなった。（大口東 炭っ子 53歳）

目覚まし時計が鳴った瞬間にアラームを止め「あと5分・・・」と思ひながら起床するのが私の1日のスタートです。高校生に夏休みはなく8時半から始まる夏課外を受けに重たい体を無理やりフル活動させ先生の話が右から左へ流されないよう必死に睡眠と戦って勉強しています。高校2年の夏も勉強や部活の毎日ですが、自分の将来のことを見据えることができるチャンスなので、去年とは違う私になれるように「きばりたい！」です。（菱刈 かなえさん 16歳）

遠い記憶がよみがえるなあ。若かりし頃、朝はいくらでも寝ていたかった。かなえさん、眠れるのは体力あつて若い証拠。将来、この時を懐かしく感じるはず。素敵に生きてください。



人口のうごき
 (住民基本台帳から)

H24. 8. 1 現在 (前月比)

総人口	29,297人	(+ 49)
男	13,543人	(+ 6)
女	15,754人	(+ 43)
世帯数	14,245世帯	(+ 41)



編集後記

先月号の特集「曾木の滝公園観光拠点施設の愛称募集」の反応が気になり担当課にたずねてみると、上々の滑り出しのようです。応募作品を見てみたい気持ちには山々ですが、そこはガマン。見てしまおうとそれが印象づいてしまいうたから密かに応募し採用されることを狙っている私としては、オリジナリティのある「コレ」というものを出したいので他人の感性に邪魔されたくないのです。応募方法は、曾木の滝の施設へ行って備え付けの用紙に記入しその場で投函するだけ。いくつだしても構わないそうですから、「数打ち当たる」で通ってみようと思います。締切の9月30日まで1か月アイデアはどんどん膨らみ数を打つ準備は万全です。あとは担当課にもうひとつ確認を・・・。「市の職員だから採用されないことはないですよね。」皆々さまにお約束します。私が選ばれても厳正な審査の結果ですから。